



はぐくみ



学校だより
令和4年11月11日 第7号
那覇市立識名小学校
校長 工藤 直也

地震津波避難訓練

11月4日(金)に地震津波を想定した避難訓練を実施しました。地震発生の場合子ども達は一齐に机の下にもぐりこみ身の安全を守る行動をしました。揺れが収まった場合校舎外への避難を開始し、最終的には全児童が運動場へ避難しました。



机の下にもぐる児童



頭を守って避難



全児童が運動場へ避難

校長からのまとめの話のなかでは、今回の訓練ではスムーズに避難ができましたが、地震や津波などの自然災害はいつどこで起きるかかわからないので、自分のいる場所に合わせた対応も必要だということも伝えました。

外にいるときは、家の塀(へい)や電信柱、自動販売機(はんぱいき)など、くずれたりたおれてくるかもしれないものからは離れること。公園や空き地などの安全な場所に避難すること。山の近くでは、すぐにガケからはなれること。海や川の近くでは、なるべく高い場所や建物に避難をすること。

学校でも指導しますが、家庭においても話題にし、先月も安心、安全な地域づくりで触れましたが、いざというときの避難場所等、家族での約束もしておくとういと思えます。

いつも見守りありがとうございます

毎朝見守りに
子供神出會て
笑い顔見れば
歳も忘れて

10月16日(日)琉球新報の琉歌のコーナーで識名小・石田中地域サポーターとして毎朝立哨をさせていただいている波平元維さんの歌が紹介されました。

地域の子どもたちが地域の皆さんに支えられていることをあらためて感じました。識名っ子には、「みんなが元気であることで地域の皆さんも元気になるんだよ」と伝えたいと思えます。ぜひ家庭でも話題にしてください。

地域で活躍する子どもたち

10月16日(日)に、繁多川自治会主催の繁多川まつりが行われました。コロナ禍で3年ぶりの開催となり多くの人で賑わいました。当日は天候の影響により石田中の体育館での実施となりましたが、ステージ、フロアで識名小の旗頭演舞、子ども会のエイサー、学童クラブのフラダンス、エイサーなど多くの識名っ子の活躍がありました。また、それを応援する多くの識名っ子の姿も見られました。久しぶりのまつりにまさにちむどんでした。



小中で旗頭を掲げる様子



エイサー、フラダンスを披露

11月3日の文化の日には、繁多川で「五恩節」の歌碑除幕式が行われました。そこでも、子ども会のエイサーにより祝賀ムードを盛り上げていました。



歌碑建立をエイサーでお祝いする「はばたき」のみなさん

地域に育ち地域を盛り上げ、元気づけ、地域の伝統を引き継ぐ識名っ子の姿に大変感動しました。

先日、第7回世界のうちなーんちゅ大会が行われ、たくさんの方々が、ふるさと沖縄、ルーツである沖縄に訪れました。地元、ふるさとを思う気持ちは世界中どこにいてもかわらないものです。識名っ子のみなさんにも、さらに地域を愛する心を育ててまいります。

おすすめの本だなパート2

9月の読書月間の時に紹介した「おすすめの本だな」を近隣の学校とローテーションしたり、公立図書館に掲示したりしています。他の学校の子どもたちはどんな本を紹介しているのかを識名っ子が見てその本を手とったり、地域の図書館で地域の方々の子どもたちがどのような本をオススメしているのか見てもらったりしています。

涼しくなってきた読書にもさらに良い時期になっています。子どもたちにも様々な本にであってほしいと思います。



識名小には真和志中、仲井真小、大道小から来てます



繁多川図書館に掲示